墨田 区議会だより

第 37 号

発　行　昭和58年10月20日
発行所　墨田区議会事務局
〒130 墨田区横網一の6-1
電　話　626－3151(大代表)

第三回定例会

京成電鉄押上線の立体化促進を

意見書(陳情書)を全会一致で議決

墨田区議会は、昭和五十八年第三回定例会を去る九月二十日から三十日までの十一日間にわたって開きました。今回は、四会派七人の議員が一般質問を行ったほか、九件の区長提出議案、十一件の請願・陳情、四件の意見書を可決しました。又、昭和五十七年度墨田区一般会計歳入歳出決算ほか二件を決算特別委員会へ審査を付託し、さらに新しい監査委員二名の選任、教育委員一名の任命にそれぞれ同意しました。

初日二十日の本会議は、冒頭で会期を三十日までの十一日間と決定した後、自由民主党、公明党、新自由・民社クラブ、日本共産党の各会派から一人ずつの議員が、区政一般について、さまざまな角度から質問を行いました。主な質問内容は、錦糸町駅北側国鉄用地の再開発、総合庁舎建設、婦人の社会参加、区の公共施設整備などで、これに対し区長、教育長から答弁がありました。

二日目の二十一日は、前日に引き続き、自由民主党から二人日本共産党から一人の議員が一般質問を行い、私立幼稚園問題、校内暴力の追放、町会及び自治会活動などを取り上げました。

(二面参照)

10月1日に開園した東墨田第一児童遊園で

議案九件などを委員会付託

一般質問終了後、区長から提出された墨田区児童遊園条例の一部を改正する条例など条例四件、補正予算二件、請負契約三件、計九件の議案が議題となりそれぞれ提案理由の説明を聴取した後、各所管の常任委員会に審査を付託しました。

又、「ミニファクス設置助成に関する請願」など請願六件陳情九件も、各所管の常任委員会に審査を付託しました。

二十二日からは、本会議が休会に入り、その間に四つの常任委員会を開いて、付託された議案、請願、陳情などの審査を行いました。

四件の意見書を議決

今定例会最終日の三十日は、休会中に各常任委員会で審査した議案などを、審査報告のとおり全会一致で可決しました。

次に、昭和五十七年度墨田区一般会計歳入歳出決算など決算三件は、二十名の委員で構成する決算特別委員会を設置して審査することになりました。

又、議員提出の「医療保険制度の改正に関する意見書」、「大韓航空機撃墜事件の真相究明と再発防止並びに民間航空の安全確保に関する意見書」、「公共料金値上げ反対に関する意見書」、「京成電鉄押上線の立体化促進に関する意見書(陳情書)」を全会一致で可決しました。

さらに、監査委員二名、教育委員一名の任期満了に伴う後任者の選任同意議案など三件が提出され、全会一致で同意した後山崎区長のあいさつがあり、第三回定例会を閉じました。

ミニファクスの設置に助成を

請願・陳情の審査結果

◎ 採択としたもの

◇ ミニファクス設置助成に関する請願
(意見) 聴覚障害者の実態等を考慮し、趣旨にそうよう努力されたい。

◇ 「友の会」「友の家」維持運営の助成に関する請願
(意見) 趣旨にそうよう努力されたい。

◇ 小梅・言問小学校区域内学童保育所早期設置に関する陳情
(意見) 別途、児童館建設の中で趣旨にそうよう努力されたい。

◇ 小梅小学校通学区域内児童館建設促進に関する陳情
(意見) 趣旨にそうよう努力されたい。

◎ 一部を採択としたもの

◇ 医療保険制度の改悪反対に関する陳情
○被用者保険本人給付率引き下げ
○高額療養費自己負担限度額引き上げ
○国民健康保険国庫補助削減

◎ 一部採択・一部不採択としたもの

◇ 区内建設業者の就労及び仕事の確保に関する請願
一　採択とした分
○公共工事の零細業者への参加機会の増
(意見) 現行契約制度の枠内で、可能な限り趣旨にそうよう努力されたい。
○まちづくり理念の区民徹底と全住民同意に基づくまちづくり
(意見) 地域住民の意見を尊重し、趣旨にそうよう努力されたい。
二　不採択とした分
○住宅意向調査と建設産業実態調査の実施、公表
○公共集会場の区内全団体への開放
(理由) 趣旨にそうことは困難である。

◎ 不採択としたもの

◇ 申告納税制度改悪反対に関する請願
(理由) 趣旨にそうことは困難である。

◇ 外国人登録法の是正に関する陳情
(理由) 現段階においては、最少限の措置であり、直ちに改正の必要性は認め難い。

◇ 「非核都市宣言」等を求める陳情

◇ 「非核墨田宣言」等を求める陳情

◇ 「非核墨田区宣言」決議等に関する陳情
(理由) 既に、当区議会としての態度は表明されており、改めて決議する必要性は認め難い。

五十七年度決算報告提出される

特別委員会で審査

今定例会の最終日、九月三十日の本会議に、昭和五十七年度の決算三件が、監査委員の意見書を付して、区長から提出されました。その内訳は、四百六十億円余の墨田区一般会計歳入歳出決算と百億円余の墨田区国民健康保険特別会計歳入歳出決算に加えて、今年二月の「老人保健法」実施に伴って、新たに設けられた墨田区老人保健医療特別会計、五億八千万円余の歳入歳出決算です。

区議会は、これらの予算の執行や事業効果が適正であったかどうかを慎重に審査するため、二十名の委員で構成する決算特別委員会を設置しました。

委員氏名は、次のとおりです。

◎決算特別委員会委員名簿

◎委員長　○副委員長
◎沖山　満　○矢口甲子夫
木内　清　熊谷　利之
小池　武二　渡辺　良
西　恭三郎　柴田　来治
阿部　幸男　佐藤　四郎
武ノ内啓次郎　原田　裕
大和久常雄　西原　文隆
早川　幸一　槐　勲
薗田　隆明　湯本　令二
樋口　丈吉　山崎　政吾

議決した意見書・陳情書(要旨)

医療保険制度の改正に関する意見書

政府が検討中の医療保険制度の見直しは、財政対策にのみ重点を置いたものである。

国民的合意の得られる制度を検討してほしい。

内閣総理大臣・大蔵大臣・厚生大臣あて

大韓航空機撃墜事件の真相究明と再発防止並びに民間航空の安全確保に関する意見書

ソ連空軍機による大韓航空機の撃墜は、国際法を無視したもので絶対に許せない。

政府は、ソ連に対し誠意をもって対応するよう強力に要求し被害者補償など適切に措置されるよう要望する。

内閣総理大臣・外務大臣あて

公共料金値上げ反対に関する意見書

都営交通運賃など国及び東京都において検討中の各種公共料金大幅値上げについて反対するとともに、住民の生活安定を図る施策を一層推進されるよう強く要望する。

内閣総理大臣・大蔵大臣・運輸大臣・経済企画庁長官・東京都知事あて

京成電鉄押上線の立体化促進に関する意見書(陳情書)

京成押上線の立体化を促進することにより、同線沿線地域の環境改善と交通機能の向上をはかるよう強く要望する。

内閣総理大臣・大蔵大臣・建設大臣・運輸大臣・東京都知事・東京都都市計画地方審議会会長・(京成電鉄(株)社長)あて

一般質問

将来の副都心にふさわしい広域的都市機能を導入したい

錦糸町駅北側開発で区長答弁

九月二十日、二十一日の二日間にわたり、四会派七人の議員が一般質問を行いました。区政一般について、さまざまな角度から質問し、これに対する区長の考えを聞きました。

区・議会・住民が一体となった錦糸町北側開発を

自由民主党

問　すみだ産業会館がオープンし、楽天地再開発ビルも完成目前で、区民の目は錦糸町駅北側開発に集まっている。政府の景気対策として指定され大きく前進したが、区、議会、住民が一体となって、実現に努力しなければならない。区長の考え方と、国、都、国鉄を交えた検討委員会の協議の様子はどうか。

答　錦糸町駅北側開発は、錦糸町だけでなく、区の将来を左右するものであり、区と地元の意向が反映されることは当然だ。

区は、将来の副都心の玄関にふさわしい開発ができるよう努力し、周辺への波及効果にも留意しながら広域的都市機能の導入を図りたい。検討委員会ではまだ具体的議論を行っていない

私立幼稚園の振興策充実は

問　私立幼稚園は、幼児教育の振興に努力しているが、出生率の低下に伴い、経営は苦しく休廃園も出ている。区は、保護者負担の軽減、運営費補助等を充実してきているが、幼児教育振興のため、一層拡充してほしい。

答　私立幼稚園をとりまく環境は厳しいようだが、区は、人口定着策を多面的に実施して、幼児人口の減少にも歯止めをかけたい考えだ。従来も、公私格差是正、幼児教育振興のため、各種補助等を充実してきたが、現状を勘案し検討していきたい。

町会・自治会への助成拡充を

問　町会、自治会は、区政のため重要な役割をはたしており、区も町会活動にきめ細かな助成を行っている。今後も助成の幅を広げる考えはないか。又、町会会館の建設は、多額の費用がかさみ実現できない町会が多い長期貸付金、利子補助などを実施する考えはないか。

答　区は、町会、自治会に対し各種助成に努め、地域集会施設を整備している。町会、自治会は自主的団体なので、行政の援助には制約がある。自主性を阻外しない範囲で、行政との役割分担、財政事情等を考慮しつつ将来十分検討していきたい。

老人の通所サービス施設建設を

問　高齢化社会に対処するため区も努力しているが、家庭に引きこもりがちなお年寄りが、身近かな地域施設へ通所して、日常動作訓練や給食サービス等を受けられるようにするため、通所サービス施設を建設すべきだ

又、老人の訓練等にあたる理学療法士が不足している。区が独自に養成する考えはないか。

答　区の高齢者対策は、お年寄りが健康で自立できる施策を重点にしている。お年寄りの通所サービスは、あそか会で実施しており、十月からは賛育会でも実施する。今後も、在宅サービスの関連、民間の活用を合わせて考えたい。理学療法士の養成は、区独自では困難で国や都に期待している。

防災意識の高揚に夜間防災訓練の実施を

公明党

問　今年の九月一日は、関東大震災から60年目にあたる防災の日だった。いつ大地震が発生するかわからないと言われる一方で、災害に弱い都市環境が指摘されている。大地震の際、被害を最少限度にくい止めるため、防災都市づくりと共に、防災教育、防災意識の高揚が必要だ。

区主催や町会、自治会単位の防災訓練に、夜間の訓練を取り入れて実施する考えはないか。

答　地震は、時、場所、形等、人間の予想を超えて発生するので、防災には官民一体の不断の備えが欠かせない。夜間防災訓練も災害対策の一つとして必要であり、危険防止、地域内の混乱防止等を十分考えながら、自主的に夜間訓練を実施することは望ましいことだ。その際、区がどんな指導や手伝いができるか検討してみたい。

婦人の社会参加に保育園等の充実を

新自由・民社クラブ

問　人生を有意義に過ごすため社会参加を希望し働く婦人が増えている。女性が自覚を持って仕事をすることは、婦人の地位を高めることになる。又、自営業の多い墨田区にとって女性も労働力だ。女性が安心して働けるよう、保育園の増設、入園児の拡大、保育時間の延長、深夜保育の実施などの要望がある。

又、区の行政委員、付属機関委員、審議会委員等に婦人の参加が少ないようだ。婦人の社会参加をどう考えているか。

答　婦人の社会参加を高める方策として、保育園のみの対応で解決を図ることは問題がある。

育児休業の拡大、労働時間の短縮など労働政策と合わせ、広範な抜本的対策が必要だ。保育園の長時間保育、夜間保育もできるだけ避けるべきだが、区長会の検討結果を待ち、当区の事情を考慮して、慎重に結論を出したい。又、区政に婦人の意見を反映する努力はしているが、婦人の委員が多いとは言えない。今後も、婦人の参加を進めたい。

錦糸町北側開発は住民の意向で

問　錦糸町駅北側開発は、区の「錦糸町駅周辺基本構想」が地域住民にも支持されているので、この構想を基に、文化施設、商業拠点施設、商店街、レジャー施設を備えたものとなるよう、計画検討委員会で区長の努力をお願いする。

答　ご要望の趣旨をふまえて、今後十分努力したい。

区の公共工事を分割して、中小建設業者へ発注せよ

日本共産党

問　長びく不況による仕事不足で、区内の零細な建設業者は苦しんでいる。兵庫県や神戸市などでは、県や市が行う公共工事を細かく分割し、中小零細な町の業者に発注して、この苦しみに応えている。区でもこれにならって、区が行う公共工事を、零細建設業者に発注できる仕組を作るべきだと思うがどうか。

答　区は従来から中小企業対策として、可能なかぎり、公共工事の分離分割発注を推進し、共同企業体方式による発注等を行っているが、56年度からは、さらに具体的方針を策定し努力している。今後とも受注機会は確保していくが、建設業者の皆さんも施工能力を高めるなど自助努力をしてほしい。

学校から暴力をなくし ゆきとどいた教育を

問　学校から一切の暴力をなくし、子ども達を伸び伸びと教育するため、学校、父母、地域、教育委員会等が総力をあげて対処すべきだ。生徒に対する体罰や、教師の言葉の暴力一掃も必要だ。本区の校内暴力の実態と教育長の決意のほどを伺いたい

答　学校教育においては、児童生徒の人格を尊重し、教師と心の通い合う教育環境の中で学習活動が行われるべきだ。教育現場で暴力行為などあってはならない。幸い本区では、マスコミで報道されるような大きな暴力問題は起きていない。今後とも児童生徒の健全育成に努めたい

隅田川のほとり ㉖

旧千葉街道

明暦三年（一六五七年）に江戸で起きた大火災は、江戸の町の大半を焼きつくしました。江戸幕府は、復興計画を立て本所の地域を開拓しましたが、両国橋は、この開拓の手始めとして隅田川に架けられました。

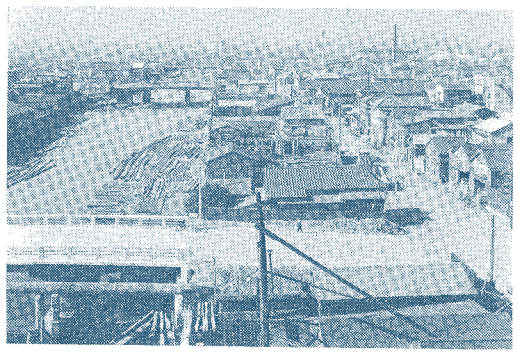
旧千葉街道は、この両国橋を渡るとすぐ南側に折れています。そして、芝居や見世物小屋、食べ物屋が軒を連ね、江戸でも指折りのにぎわいをみせた東両国を抜けて、竪川沿いに出ます。そして、東へ延び小松川からは、今井、行徳に向かう「行徳街道」と、佐倉、成田に向かう「佐倉街道」に通じていました。

この街道は、発展しつつある江戸の町へ、竪川の船運とともに塩や農産物を運ぶ重要な役目を果していました。しかし、雨が降ると高げたをはかなければ歩けないほどの〝泥んこ道〟になり、炭を積んだ荷車などは重過ぎて、車輪が泥に埋まり動かなくなってしまうこともたびたびでした。歌舞伎や講談によく出てくる炭屋の塩原多助が、この道を敷石で舗装をしたともいわれています。

明治時代に入って、この街道は「千葉街道」と呼ばれるようになったのですが、明治二十年から三十年頃までこの街道を乗合馬車が走っていたため、土地の人は「馬車通り」とも呼んでいました。

「ガラガラ」という車輪の音「プープー」という豆腐屋のようなラッパを吹き鳴らす、東京でも珍らしかった馬車が往き来し、東京と千葉を結ぶ重要な道として、明治から太正にかけても盛んに利用されました。

関東大震災後の復興計画で、新たに今の京葉道路（国道十四号線）が作られて、旧千葉街道はいつしか忘れられてしまいましたが、今は竪川の上に高速七号線が走り、又京葉道路も東京と千葉をつなぐ大動脈となり、第二、第三の千葉街道として東京千葉の発展に役立っています。



昭和32年頃の竪川と旧千葉街道

区議会の開催をポスターでお知らせします

今定例会から、区議会の開催をポスターでお知らせしています。ポスターの掲示場所は、庁舎、出張所、図書館、区立保育園などの区の施設と議員宅です

区議会は、区民の方が選挙した議員で構成され、定例会を年四回、又、臨時会を必要がある場合に開きます。

墨田区は、本会議、各委員会を区民の方に公開しています。

本会議は、議員全員が参加して、条例の制定改廃や予算などを決定します。各委員会では、区議会で受付けた請願や陳情を審議します。

区政の重要な事項を決定する過程を是非ご覧ください。

つぎの区議会は十一月に開きます

第四回定例会は、十一月に開く予定です。日程などは、ポスターをご覧になるか、左記へお問い合わせください。

□議事係☎626―三一五一内線246

議員の住所・電話番号変更

○木内　清　議員（新自・民）
（六二一一）一三七八
（六月二十日付）

○槐　勲　議員（公　明）
立花一の23―3―402
（九月二十六日付）

あとがき

去る10月3日、三宅島で火山が噴火し、大きな被害を出しました。何の前触れもなく突然のことでしたが一人も犠牲者が出なかったのは、日頃から島民が噴火に備えた心構えをしていたからだと言われています。

区も、防災対策を重点施策の一つとして、地震に強く、安全で住みよいまちづくりを目指しています。

区議会事務局　調査係
☎626―三一五一内線247